

(情報名) フランネルフラワー「フェアリーホワイト」の底面給水栽培での高品質栽培技術の確立

【要約】 フランネルフラワー「フェアリーホワイト」は、C鋼ひも給水方式による底面給水栽培により、生育が旺盛となり花数が増加すると同時に、葉先枯れの発生を抑制できる。また、無遮光栽培と組み合わせることにより、ボリュームがある高品質な株の生産が可能である。

中山間農業研究所中津川支所・石垣要吾

【連絡先】 0573-68-2036

【背景・ねらい】

県で育成したフランネルフラワーの新品種「フェアリーホワイト」は、従来の鉢花にはない特性を持ち、消費者から高評価を得ている。東濃地域において、シクラメンの組合せ品目として、C鋼ひも給水による底面給水栽培での「フェアリーホワイト」の高品質栽培技術を明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- 1 フランネルフラワー「フェアリーホワイト」のC鋼ひも給水方式の底面給水栽培は、手灌水に比べ、生育が旺盛となり、開花数も増加する(表1)。
- 2 底面給水栽培は、灌水の手間の軽減およびしおれが原因の葉先枯れの発生を抑制できる(表1)。
- 3 底面給水栽培と無遮光栽培を組み合わせることにより、草丈の伸長が抑制され、株のふらつきが軽減されると同時に、株重が増加したボリュームある生育となり、高品質な株の生産が可能である(表2)。
- 4 無摘芯栽培では、8月中旬から開花が始まり、9月上旬に出荷適期となる。摘芯を行うことで、2～3週間開花が遅れるが、摘芯が早いほど、開花の遅れは少ない(表2)。

【成果の活用面・留意点】

- 1 栽培後半に肥料切れによる下葉の黄化が発生した場合は、適宜追肥を行う。
- 2 無遮光栽培は、手灌水では葉先枯れ発生が懸念されるため、底面給水栽培と合わせて実施する。

【具体的データ】

表1 灌水方法の違いと生育（無摘芯栽培）

区	株径	草丈	枝数	花数			開花日	地上部 生体重	葉先枯れ ^{z)}	
				開花	蕾	計				
	cm	cm	本/株	個/株	個/株	個/株	月/日	g/株		
手灌水	5g	21.1	27.6	16.7	8.4	9.4	17.8	8/28	78.6	7.1
	10g	20.6	26.0	16.3	6.1	7.5	13.6	8/28	68.2	12.5
	平均	20.9	26.8	16.5	7.3	8.5	15.7	8/28	73.4	9.8
底面給水	5g	25.6	31.1	14.9	11.7	7.4	19.1	9/1	86.4	0
	10g	22.9	30.0	15.0	9.6	10.5	20.1	8/31	79.9	0
	平均	24.3	30.6	15.0	10.7	9.0	19.6	8/31	83.2	0

z) 葉先枯れの発生程度を0：発生なし 1：一部に発生 2：大部分に発生 の3段階評価とし、次式で被害度を算出したもの

$$\text{被害度} = \frac{1 \times (\text{被害度1個体数}) + 2 \times (\text{被害度2個体数})}{2 \times \text{全個体数}} \times 100$$

1) 供試品種 「フェアリーホワイト（岐阜県育成品種）」

2) 耕種概要 播種：平成20年3月14日、3号ポット上げ：5月13日、4号鉢上げ：7月7日
夏期は遮光率30%程度の遮光資材で遮光

表2 遮光、無遮光処理の比較

区	株張	草丈	地上部重	枝数	花数			花径	開花日 ^{z)}
					開花	蕾	計		
	cm	cm	g/株	本/株	個/株	個/株	個/株	mm	
無摘芯									
無遮光	20.5	29.6	57.4	12.3	17.9	13.4	31.3	74.8	8月13日
遮光	23.1	31.9	49.9	10.8	11.2	17.6	28.8	74.1	8月13日
7/22摘芯									
無遮光	21.6	34.7	52.7	7.5	12.8	14.6	27.4	79.6	8月28日
遮光	23.4	37.0	59.7	8.2	14.8	15.7	30.5	79.5	8月28日
8/5摘芯									
無遮光	20.5	29.8	55.8	11.5	14.0	14.6	28.6	72.4	9月5日
遮光	22.8	36.3	56.5	8.3	8.3	16.4	24.7	81.8	9月5日

z) 区の半分以上の株が開花した日

1) 供試品種 「フェアリーホワイト（岐阜県育成品種）」

2) 耕種概要 播種：平成21年2月27日、3号ポット上げ：4月30日、4号鉢上げ：6月25日
灌水はC鋼によるひも給水とした。
肥効調節型肥料（180日タイプ）を培土1リットル当たり8gを混和施用

研究担当者：石垣 要吾